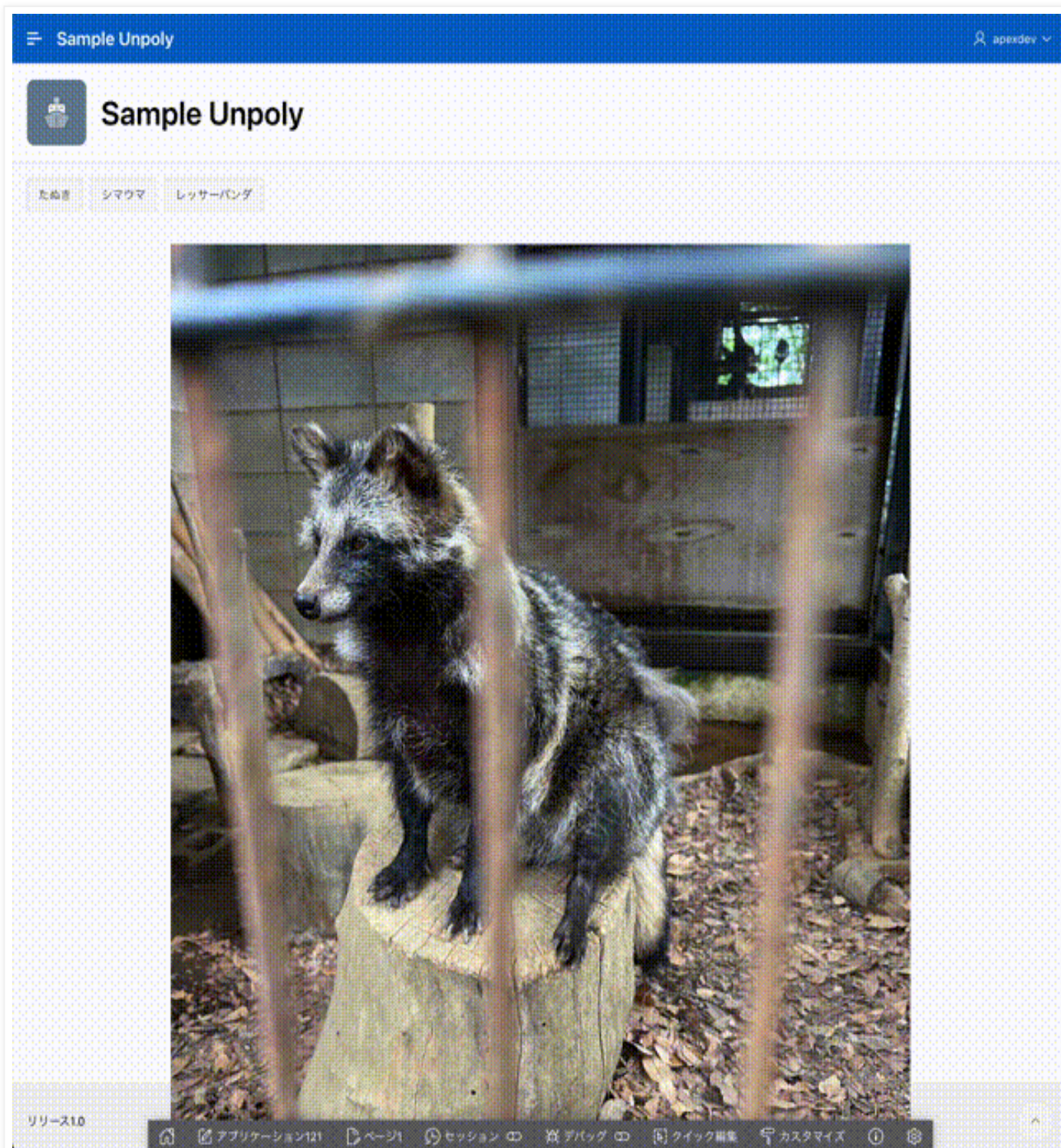


Oracle APEXでUnpolyを使用する

Oracle APEXでhtmxを使う方法とTurbo Framesを使う方法を紹介してきたので、Unpolyについても紹介します。

htmx向けのアプリケーションからの変更点を紹介します。

今回作成したアプリケーションも今までと同じく、見かけはTurbo Framsを使ったものと同じです。



以下にアプリケーションの変更点を紹介します。

アプリケーションを実装しているホーム・ページのページ・プロパティの変更から始めます。

JavaScriptのファイルURLの指定は以下になります。UnpolyのJavaScriptのコードをロードします。

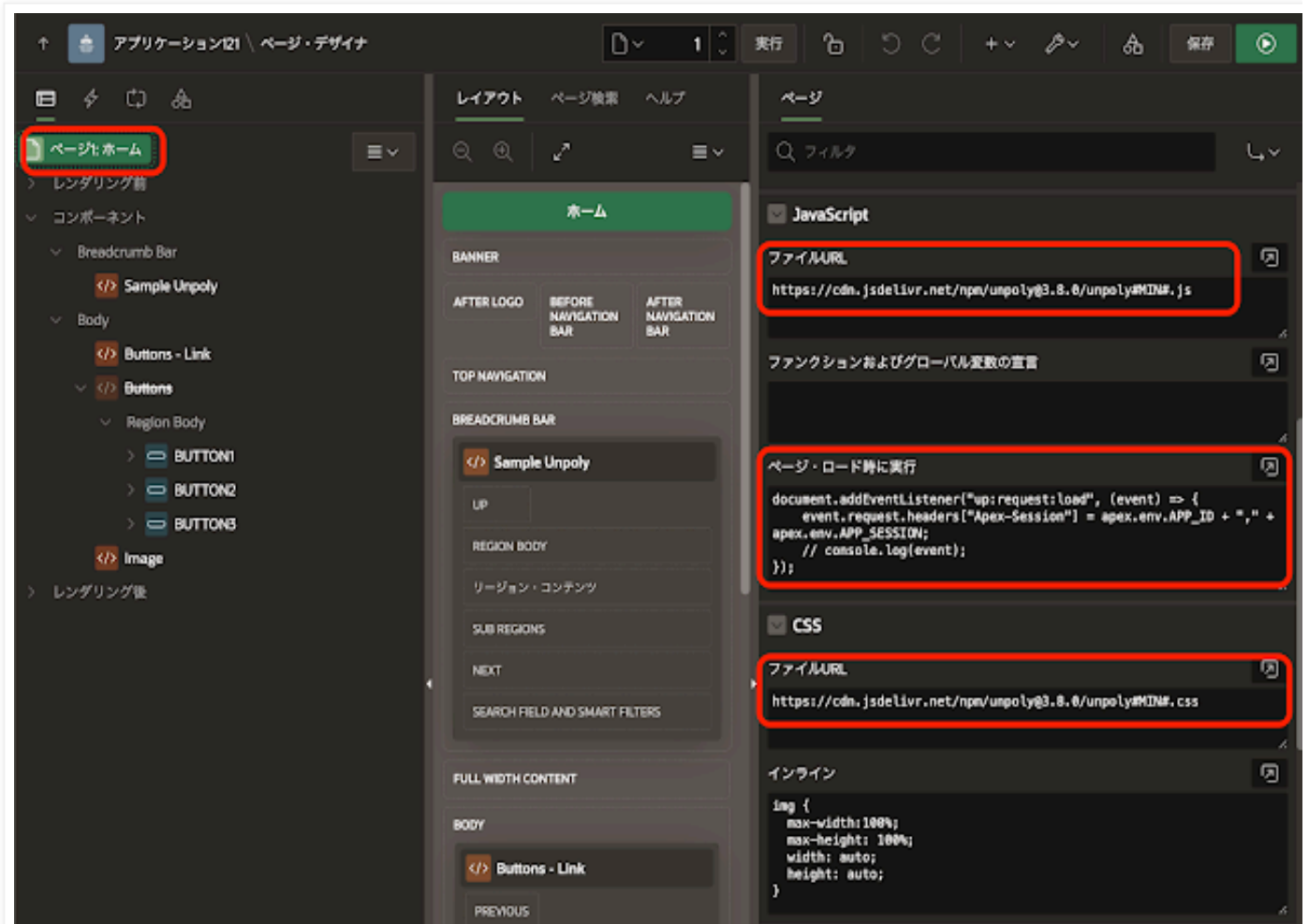
<https://cdn.jsdelivr.net/npm/unpoly@3.8.0/unpoly#MIN#.js>

CSSのファイルURLとして以下を指定します。

<https://cdn.jsdelivr.net/npm/unpoly@3.8.0/unpoly#MIN#.css>

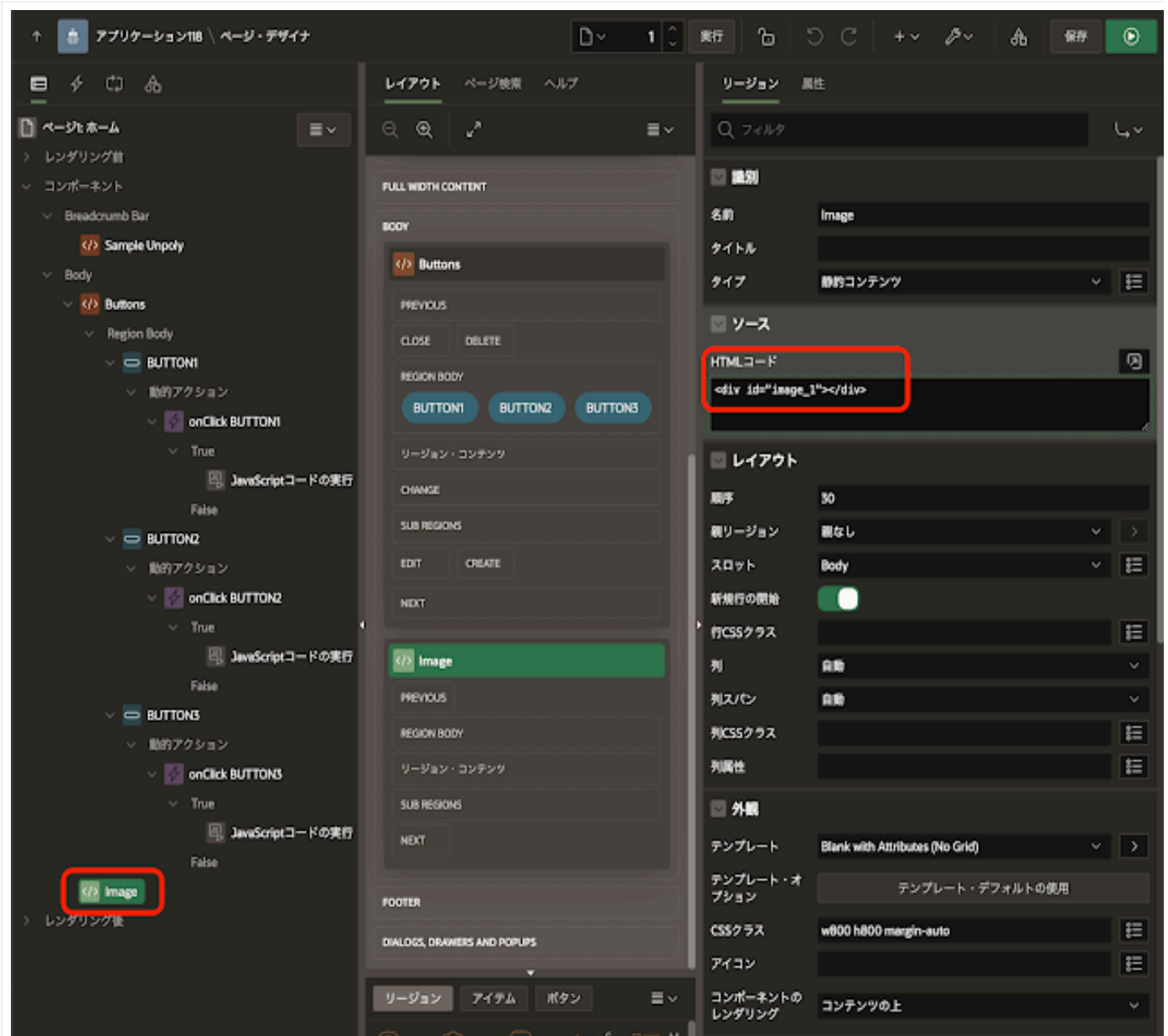
データ・ロード時に実行に以下のコードを記述します。UnpolyがAjaxコールを発行する際に、Apex-Sessionヘッダーを追加します。

```
document.addEventListener("up:request:load", (event) => {  
  event.request.headers["Apex-Session"] = apex.env.APP_ID + "," + apex.env.APP_SESSION;  
  // console.log(event);  
});
```



画像を表示する静的コンテンツのソースのHTMLコードとして、以下を記述します。DIV要素にIDとしてimage_1を与えています。この要素を、REST APIを呼び出して取得した画像で置き換えます。

<div id="image_1"></div>



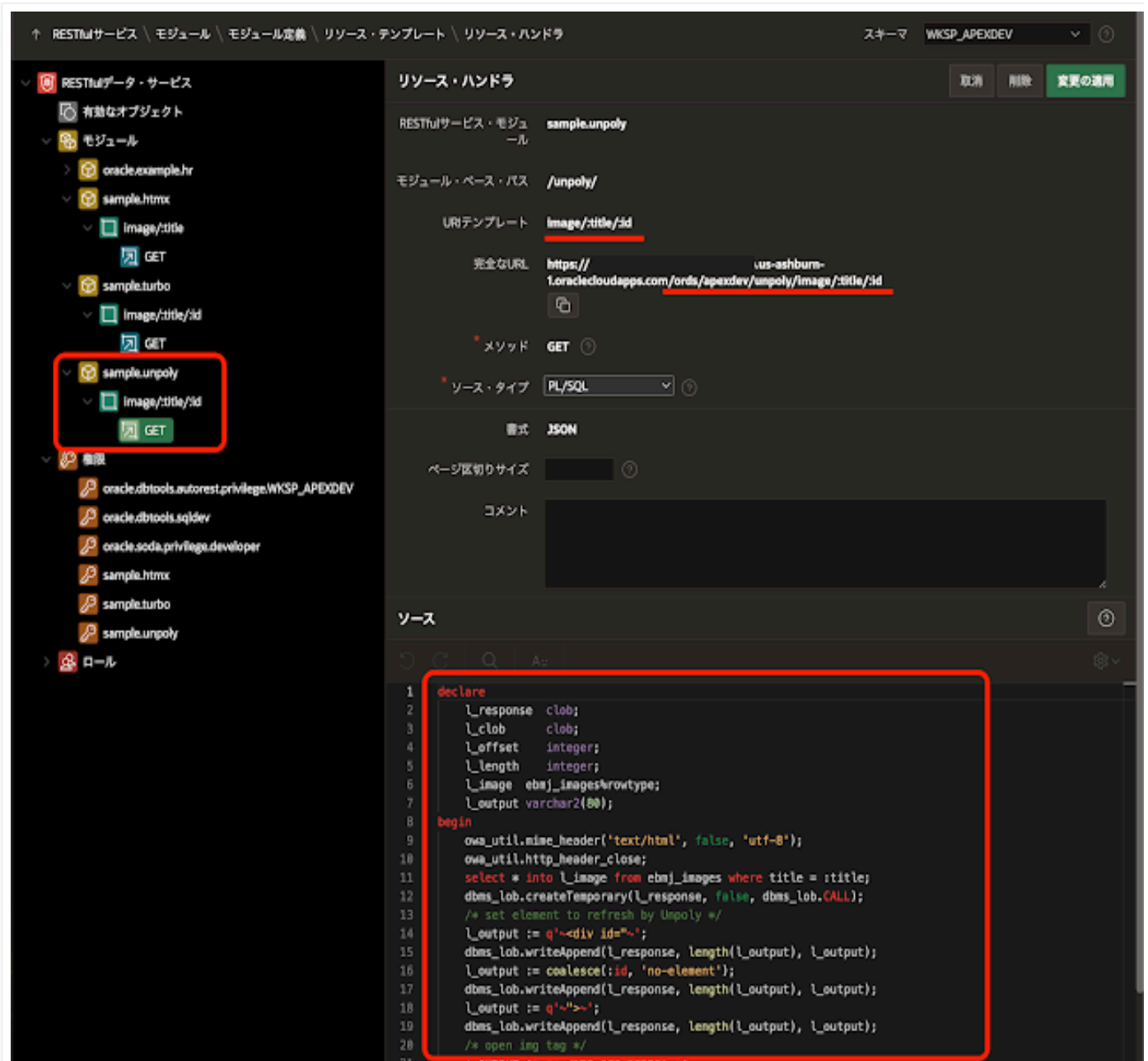
画像を返すRESTサービスでは、更新対象を示すDIV要素（Turbo Framesのときはturbo-frame要素でした）にIMG要素を含めて、HTMLを返すようにコードを変更します。

モジュール・パスは/unpoly/、テンプレートはimage/:title/:idとし、更新対象とするDIV要素のidを引数に含めました。

```
declare
    l_response clob;
    l_clob      clob;
    l_offset    integer;
    l_length    integer;
    l_image     ebmj_images%rowtype;
    l_output    varchar2(80);
begin
    owa_util.mime_header('text/html', false, 'utf-8');
    owa_util.http_header_close;
    select * into l_image from ebmj_images where title = :title;
    dbms_lob.createTemporary(l_response, false, dbms_lob.CALL);
    /* set element to refresh by Unpoly */
```

```

l_output := q'~<div id=~';
dbms_lob.writeAppend(l_response, length(l_output), l_output);
l_output := coalesce(:id, 'no-element');
dbms_lob.writeAppend(l_response, length(l_output), l_output);
l_output := q'~">~';
dbms_lob.writeAppend(l_response, length(l_output), l_output);
/* open img tag */
l_output := q'~~';
dbms_lob.writeAppend(l_response, length(l_output), l_output);
l_output := q'~</div>~';
dbms_lob.writeAppend(l_response, length(l_output), l_output);
/* return img tag */
apex_util.prn(l_response, false);
dbms_lob.freeTemporary(l_response);
exception
    when no_data_found then
        :status_code := 204;
        http.p('<div>no data found</div>');
end;
```

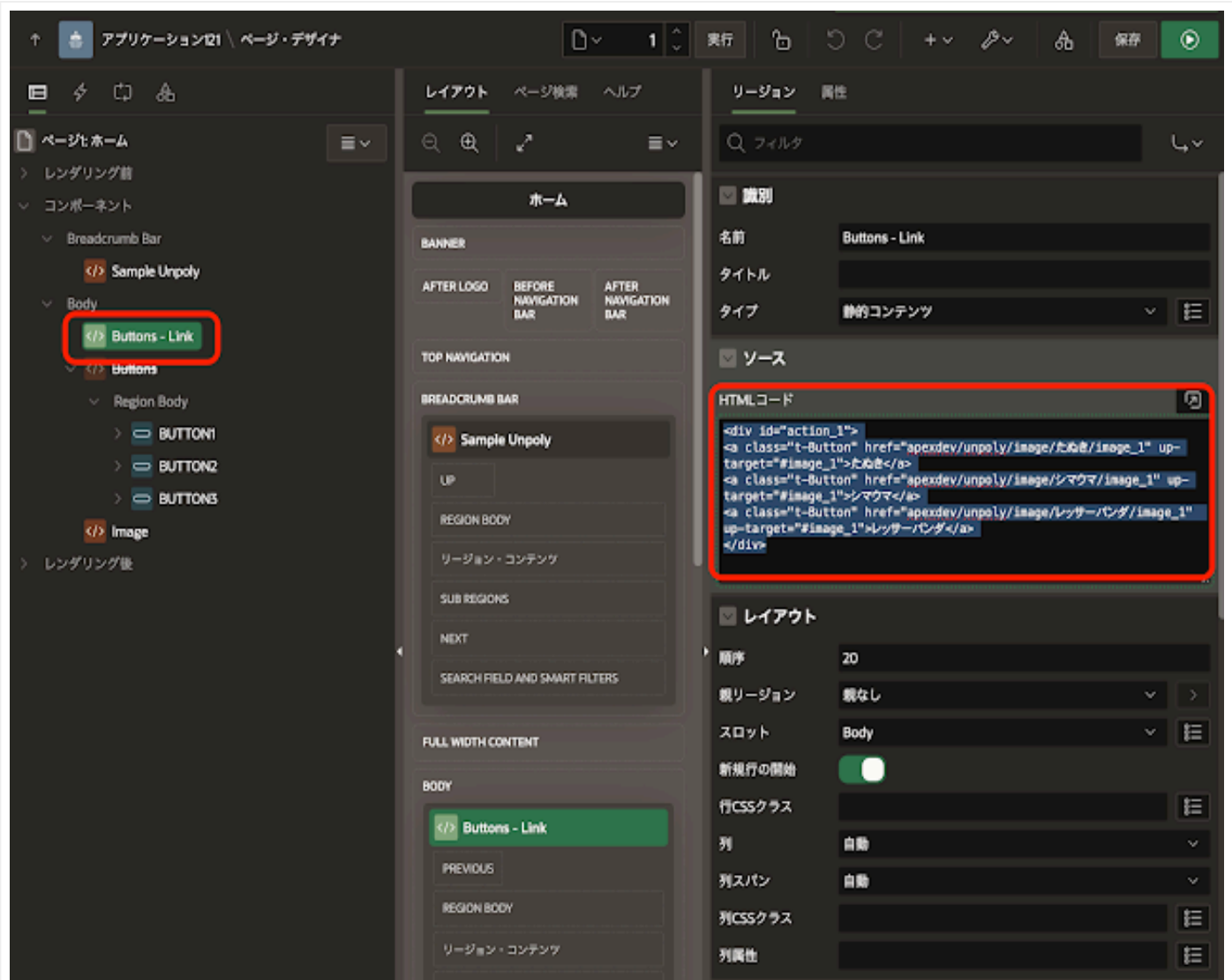



UnpolyでのHTML要素の入れ替えをA要素で行います。画像を更新する領域はup-target属性で指定します。

```

<div id="action_1">
<a class="t-Button" href="apexdev/unpoly/image/たぬき/image_1" up-target="#image_1">たぬき</a>
<a class="t-Button" href="apexdev/unpoly/image/シマウマ/image_1" up-target="#image_1">シマウマ</a>
<a class="t-Button" href="apexdev/unpoly/image/レッサーパンダ/image_1" up-target="#image_1">レッサーパンダ</a>
</div>

```



Unpolyを使うために実施した変更は以上になります。

今回作成したAPEXアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。
<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/sample-unpoly.zip>

サンプル・アプリケーションには、以前にAjaxリクエストに認証ヘッダーを追加する方法がわからなかった時に作成した、`up.render`を呼び出す動的アクションの実装も含んでいます。

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 17:23

共有

<

ホーム

>

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.
